

国会議員の定数削減の 憲法問題

参加費無料

事前申し込み不要

○日時：2025年12月19日（金）18:30～

○場所：ハートピア京都視聴覚室

（地下鉄「丸太町」駅下車すぐ）

こまつ ひろし

○講師：小松 浩さん

立命館大学法学部教授・憲法学
京都憲法会議幹事



報告 「国会議員の定数削減の憲法問題」

プロフィール：憲法学専攻。主な研究テーマは、イギリスを中心とした選挙制度。主な論文・著書に「劣化する民主主義と選挙制度改革の展望」憲法ネット103（憲法研究者と市民のネットワーク）編『混迷する憲法政治を超えて』（有信堂高文社、2025年）、『議会制民主主義の現在—日本・イギリス』（日本評論社、2020年）、共編著『憲法のいま—日本・イギリス〔補訂版〕』（敬文堂、2021年）など。

今回の憲法ゼミナールは、自民党と日本維新の会が連立政権の合意に盛り込んだ、衆院議員の定数削減について取り上げます。国会は国民の代表機関ですが、果たして国会議員は「少なければ少ないほど良い」のでしょうか。議員削減をめぐる政治的動向について、憲法の視点から考えてみたいと思います。

ご参加、どうぞよろしくお願い申し上げます。

主催：京都憲法会議

お問合せ：京都第一法律事務所内

075-211-4411（憲法会議担当）